

高齢期の四つの想い

(関心事あるいは悩み事)

1. “高齢期の楽しみ”
2. “死”
3. “医療や諸制度”
4. “人生最後の居場所”

1. 「高齢期の楽しみ」

- 役割や居場所とは切り離せない。
- 日常のちょっとした出来事の中に幸せを感じ、楽しみを見出せる高齢者ならではの豊かな感性がある。

2. 「死」

- “尊厳死の法制化を望む”
- “延命治療などで無理に生かされるのは嫌だ”

3. 「医療・諸制度」

- “高齢者に手厚すぎる”
- “若い人たちは可哀そうだ”
- “年寄りに金がかかり過ぎて申し訳ない” → そんな手厚い制度に乗っかかり平気な年寄りが多いのは嘆かわしい。

高齢期の四つの想い

(関心事あるいは悩み事)

- 治療し過ぎ、薬を出し過ぎ → 医療や医療制度に問題がある。終末期医療に関する問題がある。と高齢者は感じている。

4. 「人生最後の居場所」

- いつかは今の家に住めなくなるのでは、という不安を多くの高齢者が抱えている。
 - 高齢の夫婦二人または一人暮らしになったとき、様々な不便や不都合や危険が出てくる。
 - 老人ホームに対する不信感。
 - 自宅がいいけど、人生の最後まで住めないかもしれない。かといって施設はいやだ。
- では、どうすればいいのだろうか。そんな迷いが見えてくる。

以上